



特集

災害救援活動に積極的に取り組んでいます

〈2019.5月～8月の活動報告〉

〈ご出産のお祝い特別ディナーをリニューアル〉

〈地域連携だより〉

〈看護師レポート〉

「特集」

『災害救援活動に積極的に取り組んでいます』

令和元年に元号が変更されてからも、洪水被害や土砂災害等の自然災害が多く発生しています。いたる所で特別警報が発令され多くの被害が発生しました。

今回は、日頃より災害に備えた訓練の実施や地域との連携を中心になって担当されている社会課の金澤課長と富岡係長に話を聞きました。

長浜赤十字病院としての役割とは

日本赤十字社の災害救護活動には、赤十字の人道的任务として自主的判断に基づいて行う場合と、災害対策基本法や武力攻撃事態等における国民保護のための措置に関する法律（国民保護法）における指定公共機関として、協力する場合とがあります。これらの災害救護活動を円滑に行うため、法律に基づき日本赤十字社防災業務計画や日本赤十字社国民保護業務計画を作成し、準備を整えております。

当院では、救護班を常時派遣できる体制を組んでおります。東日本大震災をはじめ、熊本地震、平成30年7月豪雨災害、大阪北部地震、米原竜巻災害など、いち早く救護班を派遣し医療救護や巡回診療、救護所を拠点とした医療活動により被災地の支援をしてきました。

地域災害医療センター（災害拠点病院）とは

当院は、滋賀県知事より平成9年1月に災害拠点病院に指定されました。常備救護班3班と予備救護班3班、災害拠点病院災害医療派遣チーム（DMAT）を3チーム保有し、災害時のDMAT・日赤救護班の派遣や、多数傷病者を病院へ受け入れる役割を担っています。

また、滋賀県から任命を受けた災害医療コーディネーターと日赤災害医療コーディネートチームを保有し、平成30年7月豪雨災害時にも発災直後から災害医療コーディネートチームを派遣しました。被災地の保健所に入り、各地から参集した複数の機関の医療救護班の調整をするコーディネート業務に尽力しました。



大阪北部地震での避難所巡回診療



米原市竜巻災害での各家庭の安否確認



平成30年7月豪雨災害での救援物資の提供

災害救援訓練への参加

当院では、災害時病院対応訓練をはじめ、イベント救護や地域の訓練などに参加し地域全体の災害対応能力が向上するように努めています。

今年も10月27日(日)に湖北地域を震源とした震度7程度の地震に対して、職員の安否確認を始め、入院患者から面会人の安全確認後に、施設のライフラインや損壊状況を確認しました。その後災害拠点病院の役割を発揮するために多数傷病者を受入れる訓練を実施しました。併せて湖北地域の災害医療地方本部（長浜保健所）や長浜北小学校に日赤救護班・DMATを派遣し、被害状況・医療ニーズ等の医療情報を送発信し、防ぎ得た災害死の減少に取り組む訓練を実施しました。

滋賀県基幹原子力災害拠点病院とは

当院では原子力災害医療アドバイザーや原子力災害医療派遣チームを保有しており、地域防災計画により、原子力災害が発生した場合に被ばく傷病者を受け入れて救急医療等を行う役割を担っています。

滋賀県知事より、平成25年3月に滋賀県二次緊急被ばく医療機関に認定され、これが平成30年度より基幹原子力災害拠点病院に名称が変わりました。

平時より、関係機関等との情報交換や訓練、放射線被ばくに関する年間2回の基礎研修等を行うなど災害時に適時適切に対応できるように努めています。

当院はこれからも少しでも被災者の方に寄り添えるよう災害救護活動に貢献して参ります。

医療社会事業部 社会課 課長
金澤 豊
医療社会事業部 社会課 係長
富岡 康弘



日赤災害医療コーディネートスタッフ
日本DMAT隊員・インストラクター
日赤全国救護班研修指導スタッフ
救急法指導員
幼児救急法指導員
国際緊急援助隊登録隊員



日赤災害医療コーディネートスタッフ
日本DMAT隊員・タスク
日赤全国救護班研修指導スタッフ
救急法指導員
県災害医療コーディネーター

活動報告

5月 地域の皆さんとの交流を通して赤十字の活動を啓発

■いきいき健康フェスティバル2019に参加／5月19日(日)

今年も「いきいき健康フェスティバル」が長浜バイオ大学で開催されました。当院は、救命救急体験ブースを出展し心肺蘇生法やAEDの取り扱い講習、災害救護用車両の展示を行いました。体験ブースでは、親御さんの参加が多く、「お子さんのもしもの時に備えたい」と皆さん熱心に取り組まれていました。車両展示では、普段は間近で見ることのない救急車に子どもたちは興味津々でした。今後も地域のイベントを通して赤十字活動の啓発とまちづくりに貢献できるよう尽力いたします。



6月 近畿2府4県の救護班が滋賀県に参集

■日本赤十字社 第4ブロック合同災害救護訓練を開催／6月15日(土)

赤十字では毎年全国のブロックごとに災害救護訓練を合同で開催しており、今年度は京都・大阪・兵庫・和歌山・奈良・滋賀の赤十字医療施設 救護班が滋賀県に参集し、災害時の情報収集や避難所でのアセスメント、巡回診療など様々な訓練を実施しました。実際の災害を想定した綿密な設定と被災者役の方々の迫真の演技から訓練は緊張感あるものとなりました。今後も災害対応能力の向上と防災関係機関との連携強化に取り組み、地域の皆さまの安全のため災害に備えてまいります。



7月 がんと共に自分らしく生きるために

■湖北がんフォーラム2019を開催／7月7日(日)

長浜文化芸術会館において、湖北がんフォーラム2019を共催で開催いたしました。講演会では「がんと共に生きることへの支援」について、京都大学の田村先生にわが国のがん医療対策と現状、がんと共に生きること、コミュニティにおけるがんとの共生という3つの視点からお話いただきました。がんは今や2人に1人が罹患する身近な病気です。がん患者もそうでない人も「がんと共に自分らしく生きること」をじっくり考える貴重な時間となりました。



7月 次の世代の医療人を育てるために

■医師体験ワークショップを開催／7月28日(日)

湖北医師会主催で地域の中高生を対象とした医師体験ワークショップを市立長浜病院において共催で開催いたしました。この催しは、湖北地域の医療人材不足解消のため、地元を中心とする中学・高校生に医療に関心を持ってもらうため毎年開催されています。参加学生は、実技体験ブースや医師とのトークブースを通して働くイメージを膨らませました。この体験が将来医師として働いていただくきっかけになれば幸いです。



8月 滋賀県では初の実施に行政・福祉・消防からも多散が参加

■日本災害医学会主催 BHELP(ビーヘルプ)研修を開催／8月18日(日)

この研修は発災直後から避難所での活動を効果的・効率的に実践するため、災害対応における知識、原則などを理解し、被災者の生命と健康の維持、被災地内での災害対応能力向上を目的とした災害対応標準化トレーニングです。避難所では様々な問題が起こります。過去には感染症やトイレなど衛生環境の問題や、慢性疾患や医療処置、そして認知症や寝たきりなど介護が必要な避難者に支援が行き届かないなどの問題が起こりました。当研修では、要配慮者(乳幼児、妊産婦、要介護者、障害者など)がいなかったかを判断し、手を差し伸べ、次の福祉避難所や医療施設などにつなぐことを学びました。今後も避難者に優しい地域作りに貢献出来るよう頑張ります。



8月 災害時にも必要な医療を提供するために

■滋賀県建設協会長浜支部と災害時応援協定を締結／8月29日(木)

一般社団法人 滋賀県建設協会長浜支部と「災害時における病院応急補修等の支援に関する協定」を締結しました。今後、災害により病院建物に被害が発生した場合には、協定に基づき応急修繕や耐震評価など支援活動をいただきます。

当院は地域の災害拠点病院を受けており、災害発生時にも地域の中核病院として、医療機能を継続していく使命を担っております。今後も引き続き災害時への備えを充実させてまいります。



北ビワコホテルグラツィエ提供 お祝いの特別ディナーをリニューアル

ご出産のお祝いにご用意させていただいているお祝いディナーをリニューアルいたしました。ご家族の大切な記念日に北ビワコホテルグラツィエが提供する特別ディナーを是非ご賞味ください。



MENU

トマトとモッツァレラチーズの
サラダ仕立て
天麩羅盛合せ
季節のポタージュ
白身魚の焼き物
特撰近江牛のチャコールステーキ
ご飯
本日のデザート
紅茶(ノンカフェイン)

当院で
ご出産の方
限定!!

地域医療連携課だより

長浜赤十字 病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。又、地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や間、病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。

✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からのご紹介状（診療情報提供書）を持参してのご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、ご紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック（かかりつけ医）をご紹介させていただきます。

ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の際は当院救命救急センターで対応します。

ビスを提供するために、かか
介護を提供するために、病院
うびわ湖あさがおネットを活



嶋田ファミリークリニック

嶋田院長からのメッセージ

平成17年に開院し15年目になりました。かかりつけ医として内科、小児科を中心にさまざまな疾患に対応できるよう診療をおこなっています。胃カメラやエコー検査もおこなっていますので、気軽にご相談ください。



《医 師》 嶋田 義孝
《診 療 科》 内科、胃腸科、呼吸器科、小児科
《住 所》 長浜市内保町737-5
《電 話》 0749-74-8110
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:30~18:30	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

医療法人 千手会 中川医院

中川院長からのメッセージ

主に一般内科を中心とした診療ですが、循環器系および糖尿病の患者さんが比較的多くなっています。患者さんの便宜を図るべく、外来迅速検体検査「一般検血、CRP、INR、HbA1c等」ができる体制をとっております。ウッディな外観の診療所は、喫茶店の趣がある広い待合で憩いの場となっております。



《医 師》 中川 雅博
《診 療 科》 内科、小児科、循環器科、リハビリテーション科
《住 所》 長浜市曾根町1225
《電 話》 0749-72-8077
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:00	○	○	○	×	○	○
午後	15:00~18:30	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

にしあざい診療所

上田所長からのメッセージ

2019年4月に西浅井地区の診療所が再編され、「にしあざい診療所」として新たにスタートしました。総合診療外来、禁煙外来、在宅診療などに取り組み、地域のかかりつけ医として、地域の皆様の「しあわせ」に貢献できる医療を目指しています。



《医 師》 上田 祐樹、木村 佳弘
《診 療 科》 内科、小児科
外科（簡単な処置）
《住 所》 長浜市西浅井町大浦2590
（西浅井支所1階）
《電 話》 0749-89-0012
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~11:30	○	○	○	○	○	○
午後	15:30~17:00	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

医療法人社団 中村歯科

中村院長からのメッセージ

当院は昭和61年に長浜市神照町にて開設いたしました。地域歯科医療の一端をになう為、又、歯科疾患で困っておられる方に対しできる限りお話を伺い治療に当たっております。

目指そう、8020!!



《医 師》 中村 忠
《診 療 科》 一般歯科、小児歯科
《住 所》 長浜市神照町34-7
《電 話》 0749-62-4618
《往診診療》 無 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	×	○	○
午後	13:30~18:00	○	○	○	×	○	○

※日、祝祭日は休診

看護師レポート

院内感染対策にご協力ください！

感染管理認定看護師 中村 忠之

感染症と抗菌薬の関係

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原微生物（＝病気を起こす小さな生物）が体に侵入して、症状が出る病気です。感染症の治療には色々なお薬を使いますが、病原微生物に対して抗菌薬（＝細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬）を使用することがあります。抗菌薬は、感染症の治療には欠かせないお薬ですが、細菌に対してのみ効果が期待できます。ウイルスなどには効果が期待できないだけでなく、正しく使用されないと副作用が出たり耐性菌（＝抗菌薬が効かない病原微生物）が出現したりします。



院内各所に手指消毒薬を設置しています

世界で大きな問題になっている耐性菌

世界では耐性菌が原因で年間70万人の方が亡くなられています。今後何も対策をしないと約30年後には1,000万人が死亡すると予想され、がんによる死亡者数を上回る可能性があるといわれています。

当院での耐性菌に対する取り組み

対策の一つとして抗菌薬を正しく使用する活動をしています。感染管理室が中心となり、抗菌薬が適切に使用されているかを確認しています。また、耐性菌が出現した場合は院内で拡がらないように環境を消毒したり病室を調整したり様々な対策を行っています。

手指消毒も重要な対策の一つ

病院には、抵抗力の弱っている患者さんも多いため手指から感染が拡がることもあります。日頃から職員は手指消毒を徹底し積極的に感染対策を実施しています。患者さんや面会の方なども病院や病室に入られるときには、設置してあります手指消毒剤で手指の消毒をお願いします。

感染対策でお困りのことやご不明な点があればいつでもご相談ください。

今回の表紙

大規模災害訓練を実施しました

今回は院内大規模災害訓練での1枚です。病院の敷地内において、職員は勿論のこと近隣医療機関や保健所、看護学生の協力を得て約270名の参加者で実施しました。表紙の写真は、多数の傷病者が想定される災害時において、来院される患者さんの緊急度や重症度に応じて適切な処置を行うために治療の優先順位をつけるトリアージを実施している様子です。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 常に研修・研鑽に努め安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実し、災害救護や国際救援にも積極的に参加します
4. 個別のニーズ、人権、プライバシーに配慮し、患者さん中心の医療を展開します
5. 広報活動、住民教育、各種行事への参画などを通じ街づくりに貢献します

患者さんの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. プライバシーが保障される権利
3. 医療上の情報提供・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
4. 他医師などの意見(セカンドオピニオン)を求める権利
5. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
6. カルテ開示を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院

滋賀県長浜市宮前町14番7号

TEL:0749-63-2111 (代表) URL:<https://www.nagahama.jrc.or.jp/>